

平成25年度 消費者支援功労者表彰 被表彰者等一覧

1. 内閣総理大臣表彰 5件

(1) 個人(3件)

(敬称略)

氏名	住所	役職	主な活動実績
くにかた けいじ 國方 敬司	山形県山形市	山形大学人文学部教授	<ul style="list-style-type: none"> ・県消費生活審議会会長として、消費者行政の推進方策に対し提言、県初の「消費者基本計画」を策定。 ・県食の安全推進会議委員長として食の安全・安心アクションプランをまとめ、県民へのリスクコミュニケーションを推進。 ・学生への講義を通じて「消費者市民社会」を担う人材の育成。
たさか けいこ 田坂 圭子	大阪府茨木市	消費生活専門相談員	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員として、「関西相互住宅事件」では被害者を纏め、弁護士立ち上げ依頼に奔走、集団提訴に持ち込む等解決に尽力。 ・大阪地方裁判所委員会委員として司法の中枢に消費者問題を提言、そのあり方を説く。 ・全国消費生活相談員協会理事として、シックハウス研究会等を立ち上げ責任者として活動。
まつもと つねお 松本 恒雄	東京都府中市	一橋大学大学院法学研究科教授 日本消費者法学会理事長	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題、企業の社会的責任などの研究者として、国民生活審議会部会長(内閣府)、消費経済審議会会長(経済産業省)などを歴任。 ・内閣府消費者委員会の初代委員長として、消費者行政全般に対して監視機能を有する独立機関の基礎を築き、20件以上の建議等を採択し、実際に法制化や法改正が行われた。

(2) 団体(2件)

名称	住所	主な活動実績
ぜんこくせいいかつがっこうれんらくきょうぎかい 全国生活学校連絡協議会	東京都新宿区	<ul style="list-style-type: none"> ・震災復興支援活動を全国運動のテーマに掲げ、「ひまわりアクリルたわし」を販売。売上を仮設住宅居住者に還元する支援を全国の生活学校で展開。 ・各地の生活学校では、地方自治体等と連携して、食品を中心に、放射能、リスクコミュニケーションをテーマとした勉強会を開催。共に学び、共に解決を図るための活動を実施。
ふくしまけんせいいかつきょうどうくみあいれんごうかい 福島県生活協同組合連合会	福島県福島市	<ul style="list-style-type: none"> ・「福島の子ども保養プロジェクト」は、線量の高い地域から低線量地域への保養に取り組んでいる。受け入れ先は全国各地で行われ、活動の輪は日本全国へと広がる。 ・「土壌スクリーニングプロジェクト」では、福島市の全農地の放射性物質の分布状況を測定し、風評被害防止、農業の維持と食の安全確保に貢献。参加した測定者には、「福島を正しく伝える伝道師」となるための体験学習も実施。

(備考) 記載内容は原則推薦時点のものである。